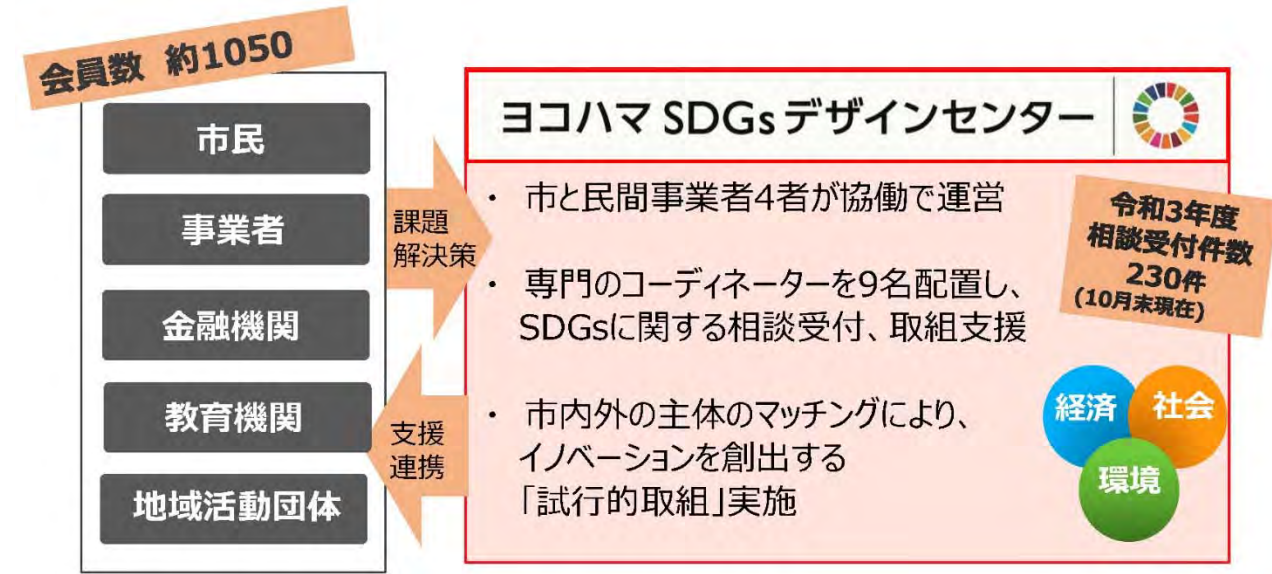


観光分野と連携したSDGs未来都市の取組について

はじめに：ヨコハマSDGsデザインセンター（平成30年度～）

- 平成30年度に国から「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定された際に、中心的事業に位置付け。
- 市と民間事業者4者の官民連携で運営し、SDGsに関する相談受付・取組支援や、市内外の主体のマッチングによりイノベーションを創出する「試行的取組」を実施。



1 パーソナルモビリティ「WHILL」シェアリング実証実験（令和元年度～）

- みなとみらい21地区にて、電動車椅子「WHILL」を活用したパーソナルモビリティのシェアリングサービスの実証実験を実施し、ニーズやあり方を把握。
- 誰にとってもシームレスな移動の実現により、社会課題の解決やまちの回遊性の向上を図る。
- 令和3年度は桜木町駅観光案内所（横浜観光コンベンション・ビューローが運営）・Cafe アニミ（クイーンズスクエア内）にステーションを設置。



シェアリングサービス
対象エリア
みなとみらい21
中央地区 新港地区

詳細はこちらのQRコードから⇒

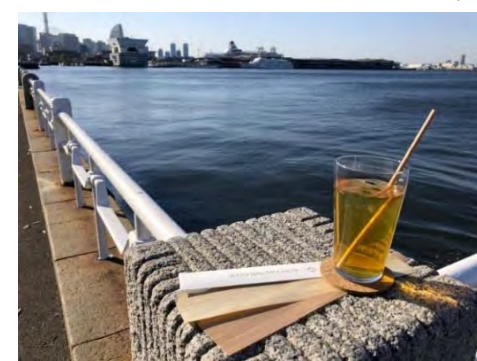
cafe アニミ ステーション
横浜西区みなとみらい2-1-1
MM21スクエアモール公園1F (クロスハブティオ内)
ご利用日時 月・木・金・土・日曜 (祝日除く)
11:00~16:00 (最終受付15:30まで)
定休日 火・水・祝日、年末年始
TEL:045-222-3316

桜木町駅観光案内所 ステーション
横浜市中区桜木町1-1 (JR桜木町 南改札 正面)
ご利用日時 11:00~16:00 (最終受付15:30まで)
TEL:045-211-0111

WHILL SHARE
みなとみらい地区における近距離モビリティ「WHILL」を活用したシェアリングサービス
予約システムは専用のアプリとして、遠隔で予約可能！
※予約システムは専用のアプリとして、遠隔で予約可能！
11:00~16:00 (※3名)
※予約システムは専用のアプリとして、遠隔で予約可能！
SDGs未来都市 横浜

2 ヨコハマ・ウッドストロー・プロジェクト（令和元年度～）

- 道志村の水源林間伐材を原料とする「木製ストロー」の普及を通じ、脱炭素化や海洋プラスチックごみ問題、森林環境保全等の意識啓発を推進。
- 木のストローへの加工は、市内で障害者を雇用している企業が実施。
- 市民への普及啓発のほか、ホテル・商業施設等の事業者等への利用拡大に向けた取組を進め、地産地消を目指す。
- 学校の総合学習・社会科見学などにおいて、プロジェクトの趣旨の講義やストロー製作体験を行うワークショップを実施。



3 横浜SDGs探求学習ガイド（令和3年度～）

- 横浜観光コンベンション・ビューローと連携し、横浜でSDGsを学ぶ児童・生徒に向けて作成。
- SDGsの学び方のガイドのほか、市内企業における取組見学をアレンジ。



探究的な学びでSDGsを理解する

SDGsの学習には、「探究学習」の手法が役に立ちます。自ら学習のテーマを設定し考え、体験で得た知識を参考にさらに考察を深めることで、将来の行動へとつなげていくという学習フローです。このガイドにはSDGsの目標達成に向け取り組む、様々な企業・団体が掲載されています。その現場を体験し、自分ごととして考える機会にしましょう。

株式会社大川印刷

旅ナカ・体験プログラムの一例

工場見学
職人の技術の一端の流れる、実際に工場見学しながら体験していきます。それぞれの工場においては、「この作業は、SDGsのどの目標につながるのか」という観点から、SDGsの目標達成につながる作業の紹介や、インクや紙の削減など、SDGsの目標達成に向けた取り組みについて、分かりやすく説明します。インクや紙の削減など、SDGsの目標達成につながる取り組みについて、分かりやすく説明します。また、工場見学の際には、SDGsの目標達成に向けた取り組みについて、分かりやすく説明します。

大川印刷の魅力
SDGs活動のリーディングカンパニーとして、全国各地で講演等のSDGs普及活動を行っています。
SDGsの目標達成のために、コストの削減を求めながら品質を高める過程に多岐な課題を見出し、気づきを得ることができ、

4 SDGsに取り組む事業者の見える化・連携促進（横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”認証事業者による事例）

(1) SDGsの取組の一環としての商品・サービス等の提供

ア 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ

- 自立循環型食品リサイクルループ「ヤサイクル」
 - ・ ホテルから出る生ごみを専用の機械で肥料化し、それらを市内契約農家などへ提供、その農園で栽培・収穫された食材をホテルで使用。



- ヨコハマ・ウッドストロー・プロジェクトへの参画
 - ・ 山梨県道志村内の横浜市が保有する水源林の間伐材を原材料とし、横浜市内の企業の特例子会社などで働く障がいのある方々によって制作されている『横浜産の木のストロー「SDGsストロー・ヨコハマ」』を使用したノンアルコールカクテルをラウンジにて提供。



イ 横浜ロイヤルパークホテル

- 人にも環境にも優しい商品の導入
 - ・ 環境に優しい「生分解性ストロー」や、開発途上国の原料やフェアフォーライフ認証、国際フェアトレード認証ワイン・コーヒーを導入。
- 地産地消メニューの積極的な提供
 - ・ 神奈川県産の食材やご当地メニューをホテルレストランでアレンジして提供するなど、地域に根付いた商品を企画。



(2) SDGsの取組に関する体験機会の提供

ア 株式会社スリーハイ（都筑区／産業用機器製造業）

- 小学生対象工場見学「こどもまち探検」
 - ・ 地域の小学生向けに、東山田準工業地域にある工場見学を実施。子どもたちのいきた学びの場を提供するだけでなく、従業員教育の場にも活用。



イ 石井造園株式会社（栄区／造園土木施工管理業）

- 協働による楽しいコミュニケーションが生まれる仕掛け「空間ワークショップ」
 - ・ 日本建築家協会（JIA）の支援企業として、子どもたちに向けた空間ワークショップのファシリテーター等実施。



【参考】横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”（令和2年度～）

- 目的
 - ・ SDGsに取り組む市内事業者等における、本制度の活用による持続可能な経営への転換及び新たな顧客獲得や取引先の拡大
 - ・ 投資家や金融機関における、ESG投資等の投融资判断の際の非財務情報としての活用
- 概要
 - ・ 環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）、地域（L）の4つの視点から、30のチェック項目について、申請者による自己チェック内容を踏まえヒアリング及び外部評価
 - ・ 各事業者の取組内容と進捗に応じて3段階（最上位：supreme、上位：superior、標準：standard）で認証
- 認証事業者のプロモーション支援
 - ・ 横浜市ホームページで紹介
 - ・ 随時プロモーション支援を行い、SDGs関連の誘客等につなげる